

<記載例>

審議事項及び結論

審議項目	ケース検討（案）	受任調整会議の結論
1. 成年後見制度の利用の適否	<p>【適否】</p> <ul style="list-style-type: none">・必要 <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none">・本人判断能力低下が顕著である（後見相当）。・ベッド上の生活であり、声かけに対し反応がない状態。・支援できる身寄りがいない。・収入、支出、財産が不明。 <p>【関係者の意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・〇〇病院：本人の現在の状況ではどこにも転院できない状況。急性期病院なのでできれば速やかに転院先を探したい。市外の転院の可能性が高い。	<ul style="list-style-type: none">・必要
2. 今後想定される後見事務	<ul style="list-style-type: none">・自宅に入り、貴重品（通帳、印鑑等）の有無の確認、収入、支出、財産のわかる書類収集。・病院との連絡・調整、転院先の入院契約等。・財産調査、負債調査、市役所の手続き等。	<ul style="list-style-type: none">・ケース検討案のとおり。
3. 申立方法	<p>【方法】</p> <ul style="list-style-type: none">・市長申立 <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none">・本人は後見相当の判断能力で申立意思を確認することが難しい。・支援できる身寄りがいない。	<ul style="list-style-type: none">・市長申立
4. 成年後見人等候補者の選定	<p>【候補者】</p> <ul style="list-style-type: none">・法律職 <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none">・本人の収入、支出、財産が不明であり財産調査、負債調査等が必要なため。	<ul style="list-style-type: none">・法律職